

小児科で大量メソトレキセート療法を実施した患者さんへ

1. 研究の対象

2012年1月1日から2024年12月31日までに新規に発症した18歳以下の小児がん患者のうち、新潟県立がんセンター新潟病院で治療が行われた患者さん

2. 研究目的・方法

目的

小児がんにおいて、大量メソトレキセート療法は急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、骨肉腫などに用いられ実施頻度が高い治療である。様々な急性毒性が報告されており、患者背景や投与方法、量、回数などによる毒性出現率を把握し、支持療法の計画に役立てる事を目的とします。

方法

診療録より必要な情報を得る。

3. 研究期間：実施許可日 ～ 2028年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、原疾患、既往歴、治療プロトコル、MTXの投与量、MTXの投与時間、大量輸液の開始時間、大量輸液の量、MTX排泄遅延の有無、併用した化学療法の有無・種類、MTXの副作用の頻度とグレード(粘膜障害、血球減少、肝障害、腎障害、神経障害など)

5. 研究組織

新潟県立がんセンター新潟病院 小児思春期・血液腫瘍科
小川淳、渡辺輝浩、笠原靖史、川上優吾

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院（小児思春期・血液腫瘍科）

当院研究責任者：（川上優吾）

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111